

科目区分	専門教育科目	科目名	社会的養護		科目コード	50310	担当者	島田幸一郎	
対象学生	幼児教育学科1年生	学期区分	前期	単位数	2	卒業要件	選択		
						免許・資格要件	保育士資格必修		
科目の主題						成績評価の方法と割合			
各種児童福祉施設などにおける児童の処遇について、共通して流れている子ども支援の理論や方法を理解する。						定期試験 (70%) 提出物 (20%) 受講態度 (10%)			
科目の到達目標						教育目標に基づく学修成果の到達目標			
						誠実な人柄と人間力 (尽心)	高度な知性と創造力 (創造)	明確な意志と実践力 (実践)	
1.	子どもの権利思想の歴史と背景を知る。					○	○		
2.	社会的養護の意義と体系を理解する。					○	○		
3.	施設養護の基本原則を理解する。						○	○	
4.	社会的養護に関わる子どもの実情と課題を知る。					○		○	
授業方法									
講義を基本とするが、児童虐待など近年の子育てに関する社会問題を事例に挙げながら、より具体的で実践的な内容に努めたい。また、視聴覚教材等を活用して講義内容の理解を深めたい。									
準備学修 (予習、復習等に必要時間または具体的な学修内容)									
社会の高度化・複雑化の中で、貧困などで困難な立場に置かれている子どもたちが少なくない。日頃からマスメディアに注目し、子どもにかかわる課題や支援のための制度等について関心をもち、社会の動向に気づく感覚を磨いてほしい。									
授業計画									
第1回	オリエンテーション								
第2回	社会的養護の基礎概念・基本原則								
第3回	社会的養護の体系と施設養護								
第4回	児童養護施設の生活とレジデンシャルワーク								
第5回	子ども観の変遷と子どもの権利								
第6回	子どもの権利と社会的養護								
第7回	社会的養護理論の変遷とホスピタリズム								
第8回	アタッチメント理論・パーマネンシープランニング								
第9回	家庭的養護の推進								
第10回	子どもと家庭を取り巻く状況								
第11回	社会的養護の現状と展開 (I)								
第12回	社会的養護の現状と展開 (II)								
第13回	日本における権利保障の取り組み								
第14回	社会的養護に関わる相談体制								
第15回	社会的養護の概要 (まとめ)								
						受講生へのメッセージ			
『よくわかる社会的養護』 (山縣文治・林浩康編) ミネルヴェ書房						社会が変動するとき、負の影響を大きく受けるのが子ども達です。貧富の差の拡大や人間関係の希薄さが問題になっている現在、社会的養護の果たす役割はますます重要になってきています。社会全体で子どもを育てる意義をしっかりと理解し、未来を担う子ども達と共に歩み成長する保育士になってください。			